

点訳グループ くすの木

点訳本の製作や点訳ボランティアの養成などに取り組むボランティア団体「くすの木」。普段の活動内容や、活動に対する思いなどをお聞きしました。

○活動開始からもうすぐ30年

「くすの木」が市立図書館で活動を始めたのは平成元年で、来年で30年目になります。

市立図書館から委託を受けて点訳本を製作したり、点字ラベルを作成したりするほか、子ども点字教室や点訳基礎講座にも携わっています。また、自分たちで選出した本も点訳し、併せて点訳ボランティアの養成にも取り組んでいます。

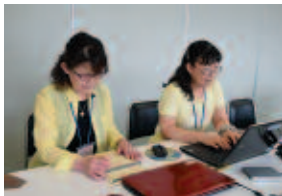


▲子ども点字教室

○点訳本が完成するまで

昔は一冊一冊全て手作業で点訳本を製作していましたが、現在は専用のソフトウェアに打ち込んで電子データとして残します。昨年は38タイトルの点訳本を製作しました。

1冊の本を点訳するのに、点訳者1人と校正者3人の4人が関わり、打ち合わせをしながら作業を進めます。点訳者はルール通り正確に点訳し、校正者は正確に表現されているかといったところまで踏み込んでチェックします。特に写真や図表などを点字で表現することは非常に難しく、苦労しますね。



▲作業の様子

点訳本の製作には何カ月もか

かり、また責任を持って本を完成させることにプレッシャーも感じます。しかし、その分出来上がったときには、自分で1冊の本を書いたかのような充足感がありますね。

○いつでも仲間を募集しています

「くすの木」では、現在20人がボランティアとして活動しています。毎週金曜日の午前中に集まって顔を合わせ、後はおのおの自宅で作業します。初心者でも段階を踏んで覚えられるので、興味があればぜひ仲間になってほしいですね。



子ども点字教室【8月4日(金)開催】

市立図書館では、点字の読み書きが学べる小学生向けの講座を開催します。申し込み方法など詳しくは、広報よっかいち6月下旬号13ページをご確認ください。

老若男女、各分野で活躍するさまざまな「四日市人」を取材して、その人の言葉で四日市の魅力などを読者に伝えるコーナーです。

■CTY「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。

日時：6月11日～7月10日
月水金日 9:30・20:30
火木土 12:30・20:30

■CTY-FMで毎月第2・第4日曜日放送の「よっかいちわいわい人探訪!」でも紹介します。

日時：6月11日・25日
8:54・14:54